

小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 17

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	街路樹緑化事業		<2> 事業・業務の別	業務
<3> 選定基準	③ その他		<4> 継続業務・新規業務の別	継続業務
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	4 暮らしやすく住み続けたい地域の活力を生かしたまちづくり	<6> 担当部(局)	建設水道
	中項目	4-2 みんなの暮らしを支える生活基盤整備	<7> 担当所属	道路課
	小項目	4-2-4 道路	<8> 担当係等	保全維持
	施策	道路機能の保全		
<9> 根拠法令・計画等			<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	8 款 2 項 2 目
<13> 実施期間	年度 ~	年度	<14> 全体事業費	千円
<15> 実施手法	全部委託		「その他」の場合 ()	

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	街路樹の剪定、害虫駆除及び植栽樹内や路肩部の除草を実施する事業。								
目的	<17> 事業・業務の目的	道路利用者の安全で快適な通行の確保。							
	<18> 事業・業務の対象	道路利用者。							
手段	<19> 令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 害虫駆除 低木剪定 高木剪定 除草 落葉清掃 枯れ木の伐採 							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	計画
		害虫駆除	回	3	1	3	1	3	3
		指標とした理由	道路利用者や沿道住民の快適な通行の確保につながる作業であるため。						
	高木剪定	本	800	120	800	120	800	800	
	指標とした理由	道路利用者や沿道住民の安全で快適な通行の確保につながる作業であるため。							

<21> 事業・業務の成果	道路の安全で快適な通行。							
---------------	--------------	--	--	--	--	--	--	--

成果	<22> 成果指標 (活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	計画
	事故件数(街路樹)	件	0	0	0	0	0	0	
	活動指標との関係や成果指標とした理由	通行等に支障となっている事象が事故原因になり得るため。							

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	
					計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	計画(予算)	
			千円	47,643	46,642	35,143	35,007	54,643	82,163		
		事業費等	千円	43,000	41,999	30,500	30,364	50,000	77,520		
		財源内訳	国・県補助金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	43,000	41,999	30,500	30,364	50,000	77,520	
			上記の主な用途	害虫駆除、除草、低木剪定、高木剪定、枯れ木の伐採、採落葉清掃							
			人件費	千円	4,643	4,643	4,643	4,643	4,643	4,643	
	正職員	千円	7,737 × 0.6	7,737 × 0.6	7,737 × 0.6	7,737 × 0.6	7,737 × 0.6	7,737 × 0.6			
	他の職員	千円	×	×	×	×	×	×			

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である		
		理由	事務事業の実施は、道路利用者の安全で快適な通行の確保につながるものである。		
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である		
		理由	消毒で害虫を抑え、枯れ枝や伸びた枝を剪定している。		
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある		
	理由	事務事業の実施は、道路利用者の安全で快適な通行の確保につながるため市民のニーズはある。			
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である			
	理由	業務の履行を確認する作業は市(道路管理者)が担うため妥当である。			
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある		
		理由	成果が十分に満足している。		
効率性	<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか?	2. 中位			
	理由	道路機能の保全につながる事務事業である。			
公平性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある			
	理由	街路樹の総量を減らすことなどしてコストを抑えることで効率の向上を図ることができる。と考える。			
<32> 総合評価	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4. 該当しない			
	理由	受益者負担を求める事業ではない。			
		2. 改善の余地はある	理由	総量を減らし、消毒や剪定費を抑えることで、効率の面に改善の余地がある。	

4. Action - 改善 -

事業の改善	<33> 事業の課題 事業の改善点	樹木の枝葉や雑草の繁茂、毛虫の発生等で通行等の支障となり、苦情につながるケースが多いため、街路樹にまつわるこれらの案件を減らすために街路樹の総量を減らしたり、業務委託の発注方法を見直すなど検討していきたい。
-------	----------------------	---

5 Plan - 計画 -

事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	1. 拡大	理由	今ある街路樹を適切に管理するためには、現行の予算では対応できない現状があるので、事業の進め方を工夫する必要がある。
	<35> 2次評価	所管部長	1. 拡大	理由	事故がゼロで成果としては満足しているが、剪定本数については実績があがらないため、街路樹の総量減について検討する必要がある。
事業の計画	<36> 実施計画・今後の方針	引き続き、街路樹の管理(剪定、除草、害虫駆除等)、枯れ木の伐採等を実施するとともに、管理する街路樹を減らすことが可能か検討する。			
	<37> 活動・成果目標	街路樹を適切に管理し、道路利用者及び市民の安全で快適な通行の確保する。			